

1月 給食だより



「早寝 早起き 朝ごはん」
運動シンボルマーク

明けましておめでとうございます！

新しい年になりました。いよいよ3学期です。今年1年もみなさんが毎日元気いっぱいにご過ごせるよう、安全安心でおいしい給食を作っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

1月には学校給食週間があります。飽食の時代に育つ子どもたちですが、給食を通して食べ物に関心を持たせ、食べ物ができるまでには自然の恵みや多くの人びとの働きがあることを伝えていきたいと思ひます。



【 今月の献立より 】

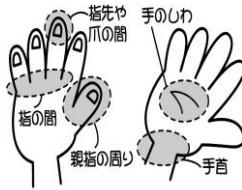
11日(水) 給食でもおせち献立をたてました。おせち料理には、さまざまな“言われ”(昔から言い伝えられてきたこと)があって、新しい年を祝う気持ちと家族やみんなの健康や幸せを願う気持ちが込められています。

12日(木) 1月7日の朝に、七種類の若菜を入れたおかゆを食べて、無病息災を祈ります。また、正月にたくさんのごちそうを食べた胃を休ませる意味もあります。給食では、七草うどんを作ります。(春の七草…せり、なずな、ごぎょう、はこべ、ほどけのぎ、すずな、すずしろ)

1月24日～1月30日は全国学校給食週間です。なつかし給食や郷土料理、地産地消献立を予定しています。

★手をせっけんでしっかり洗ひましょう。

冬になると、「水が冷たいから」「めんどうだから」などの理由で、「指先だけ」や「さっと水で流す」手洗ひになっていませんか？食事の前、調理の前、帰宅時など、手をせっけんでいいいに洗う習慣をつけましょう。



汚れの残りやすい部分は注意して洗ひましよう

* 保護者のみなさまへ *

給食費の徴収についてお知らせです。

今月1月20日(金)の再引き落しで今年度最終となります。未納のある方は前日までに御準備ください。給食費は給食の食材費のみに使用されております。なお、未納の場合、状況に応じて練馬区の方針により必要な法的措置を執る場合があります。

1月24日
～30日

全国学校給食週間



がっこう 給食

◆学校給食のはじまり

みなさんが毎日食べている「学校給食」。その始まりは明治22年、やまがたけんつるおかし げんざい つるおかし しつちゅうあいしょうがっこう かにい 山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)にある私立忠愛小学校で、家庭が貧しくお弁当を持ってこられない子どもたちのために無料で食事を提供したことからといわれています。その後、全国で実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で中止されてしまいました。

◆全国学校給食週間とは

戦争が終わり、子どもたちの栄養不足を改善するために、外国などからの援助で給食が再開されました。昭和21年12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることが決まりました。

◆学校給食の役割

日本で学校給食が始まったのも、戦後再開されたのも、子どもたちを飢えから救うためでした。しかし現在では、食べることが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ、肥満や生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されることから、バランスの良い食事のお手本として、学校給食は「生きた教材」の役割を担っています。

めいじ ねん 明治22年



げんざい 現在



◆昔の給食には、どんなものが出ていたのでしょうか？

【主食】

●コッペパン

エネルギーを補うため、大きなコッペパンが定番でしたが、食べきれないという声もありました。揚げて、砂糖やきな粉をまぶした「揚げパン」は、今でも人気があります。(昭和25年ごろ～)

●ソフトめん

うどんとスパゲッティの間のようなめで、ミートソースやあんかけなどをかけて食べました。(昭和38年ごろ～)

※「ご飯(米飯)」が本格的に出るようになったのは、昭和50年代以降です。

【飲み物】

●ミルク

牛乳ではなく、牛乳から脂肪分を除いて粉にした脱脂粉乳に、砂糖などを加えて温めたもの。栄養はありましたが、独特においと味で、あまり人気がありませんでした。(昭和20～30年代)

【おかず】

●クジラ料理

昔は価格が安かったため、よく登場しました。硬くて臭みが強いため、食べやすいう工夫して料理されました。(昭和20～50年代)

